

木屋旅館

歴史×アートで魅せる旅館

訪れた人に寄り添い、
宇和島流のおもてなしを



木屋旅館は、明治44年創業の歴史ある旅館です。平成7年の廃業後、長らくそのままにされていたが、平成24年春に新しい滞在型の観光名所として再生オープンしました。国の登録有形文化財でもある建物は、建築家の永山祐子さんによってリノベーションされ、明治・大正時代の面影を残しつつ、上品かつ洗練されたアートエンターテイメント空間となっています。特に、2階の透明アクリル床や、木組みの梁を大胆に魅せるデザインは、国内外から訪れる宿泊客・観光客を魅了します。

ジェネラルマネージャー（支配人）を務めるグレブバルトロメウスさんは、「遠くから足を運んでくれた人たちを、とにかく満足させたい。全員に笑顔で帰ってほしい」と話し、客間・客室へ宇和島ゆかりの人物の書籍や装飾品を施すほか、セレクトショップの併設など、お客さんを楽しませる努力を惜しみません。海外出身でありながら親しみ深いグレブさんの旅館案内も魅力の一つです。

「地元の人や、お客さんとの距離感を一番大切にしている」と話すグレブさん。これからも、宇和島の歴史を紡ぐ場所として、多くの人に慕われ続けることを期待します。